



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日
東

上場会社名 オールエル株式会社 上場取引所
 コード番号 7670 URL <http://www.owell.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飛戸 克治
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 大野 善崇 (TEL) 06-6473-0138
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,360	△26.4	△314	—	△298	—	△192	—
2020年3月期第1四半期	15,443	—	110	—	158	—	106	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,195百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △78百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△18.62	—
2020年3月期第1四半期	10.29	—

(注) 2019年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	40,544	18,403	45.1
2020年3月期	41,629	17,337	41.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,283百万円 2020年3月期 17,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点で未定とさせていただきます。

詳細につきましては、本日発表の「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,400	△23.7	△390	—	△295	—	△250	—	△24.17
通期	54,500	△15.5	△80	—	100	△89.1	40	△92.3	3.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日発表の「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	10,500,000株	2020年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	156,985株	2020年3月期	156,985株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	10,343,015株	2020年3月期1Q	10,343,058株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、政府が2020年4月に緊急事態宣言を発出し、経済活動が大きく制約されました。緊急事態宣言は、2020年5月25日に解除され、経済活動が再開され徐々に動き始めたものの、新型コロナウイルス感染症拡大以前の状態にまで回復するには、多くの時間を要すると思われまます。海外経済も同様に、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、世界経済は大幅に落ち込みました。今後の国内外の景気動向は、新型コロナウイルス感染症の影響に左右されるため、不透明な状況が続いていくと推測されます。

当社グループはこのような状況の中においても、当社グループのコア事業である塗料関連事業と電気・電子部品事業のシナジーを高め、お客様の課題解決に的を絞って、新型コロナウイルス感染症拡大の収束後の世界にも通用する価値を提供して、新たな需要を創造していくとともに、やりがいと誇りを持てる企業となるべく、努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は11,360百万円(前年同期比26.4%減)、営業損失は314百万円(前年同期は営業利益110百万円)、経常損失は298百万円(前年同期は経常利益158百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は192百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益106百万円)となりました。

塗料関連事業では、新型コロナウイルス感染症拡大により、主たるお客様である自動車メーカーの生産停止やその他産業のお客様においても生産減などにより、塗料や化成品などの出荷が減少した結果、売上は減少しました。その結果、塗料関連事業の売上高は8,585百万円(前年同期比27.2%減)、セグメント利益は153百万円(前年同期比67.0%減)となりました。

電気・電子部品事業では、新型コロナウイルス感染症拡大により、主たるお客様である自動車メーカーの生産停止やその他産業のお客様の生産減などにより、主要商品であるホールICや車載モジュールなどの出荷が減少した結果、売上が減少しました。その結果、電気・電子部品事業の売上高は2,774百万円(前年同期比23.9%減)、セグメント利益は11百万円(前年同期比84.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の28,144百万円に比べ3,268百万円(11.6%)減少し、24,875百万円となりました。その主な内訳は、たな卸資産が780百万円増加し、現金及び預金が813百万円、受取手形及び売掛金が2,678百万円、電子記録債権が369百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の13,485百万円に比べ2,183百万円(16.2%)増加し、15,668百万円となりました。その主な内訳は、建物及び構築物が180百万円、投資有価証券が2,064百万円、退職給付に係る資産が24百万円それぞれ増加し、建設仮勘定が89百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の19,909百万円に比べ2,726百万円(13.7%)減少し、17,183百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が2,768百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の4,382百万円に比べ575百万円(13.1%)増加し、4,957百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債が594百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であることから未定としておりましたが、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、当社グループの連結業績予想を公表することといたしました。詳細については、本日公表しました「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,474	3,660
受取手形及び売掛金	14,151	11,473
電子記録債権	3,857	3,488
たな卸資産	5,033	5,814
その他	640	453
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	28,144	24,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,245	1,425
機械装置及び運搬具（純額）	83	89
工具、器具及び備品（純額）	86	87
土地	1,968	1,968
リース資産（純額）	55	57
建設仮勘定	89	—
有形固定資産合計	3,529	3,628
無形固定資産		
ソフトウェア	74	67
のれん	22	19
その他	42	42
無形固定資産合計	139	129
投資その他の資産		
投資有価証券	9,275	11,340
長期貸付金	97	90
退職給付に係る資産	29	54
繰延税金資産	96	108
その他	385	384
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	9,816	11,911
固定資産合計	13,485	15,668
資産合計	41,629	40,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,643	12,874
短期借入金	2,021	1,952
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	108	41
賞与引当金	430	267
品質保証引当金	81	104
その他	1,125	1,443
流動負債合計	19,909	17,183
固定負債		
長期借入金	1,850	1,850
退職給付に係る負債	163	168
役員退職慰労引当金	85	87
繰延税金負債	1,996	2,590
資産除去債務	45	45
その他	242	216
固定負債合計	4,382	4,957
負債合計	24,291	22,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	760	760
利益剰余金	10,940	10,623
自己株式	△87	△87
株主資本合計	12,470	12,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,859	6,288
繰延ヘッジ損益	△3	△6
為替換算調整勘定	△2	△49
退職給付に係る調整累計額	△109	△102
その他の包括利益累計額合計	4,743	6,129
非支配株主持分	123	120
純資産合計	17,337	18,403
負債純資産合計	41,629	40,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	15,443	11,360
売上原価	13,502	9,994
売上総利益	1,941	1,366
販売費及び一般管理費	1,831	1,681
営業利益又は営業損失(△)	110	△314
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	75	51
その他	8	8
営業外収益合計	85	60
営業外費用		
支払利息	9	7
持分法による投資損失	2	1
為替差損	17	30
その他	6	5
営業外費用合計	36	44
経常利益又は経常損失(△)	158	△298
特別利益		
受取保険金	—	68
特別利益合計	—	68
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	158	△229
法人税、住民税及び事業税	34	9
法人税等調整額	17	△48
法人税等合計	51	△39
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107	△190
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	106	△192

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107	△190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△189	1,429
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	2	△45
退職給付に係る調整額	△0	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△186	1,386
四半期包括利益	△78	1,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80	1,192
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,799	3,643	15,443	—	15,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	119	132	△132	—
計	11,813	3,763	15,576	△132	15,443
セグメント利益	463	71	534	△424	110

(注) 1. セグメント利益の調整額△424百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,585	2,774	11,360	—	11,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	90	101	△101	—
計	8,597	2,865	11,462	△101	11,360
セグメント利益又は損失(△)	153	11	165	△480	△314

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△480百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。